



(Photo by Emmanuel Appiah at Unsplash)

曲突徒薪

(きよくとつしん)

第 11 号

2023/11/15 発行

尾藤 剛

リボーン合同会社

今月のもくじ

【中小事業者のデフォルト状況】

2023 年 10 月までの最新データ 2

【あとがき】

お体には十分お気をつけて..... 5

暗号資産の代表銘柄であるビットコイン(Bitcoin)相場に活気が戻ってきました。ビットコイン価格は、2021 年 11 月に史上最高値となる 68,789 米ドル(CoinMarketCap.)を記録した後、一時は 1/3 以下の 16,000 米ドル前後まで下落していました。

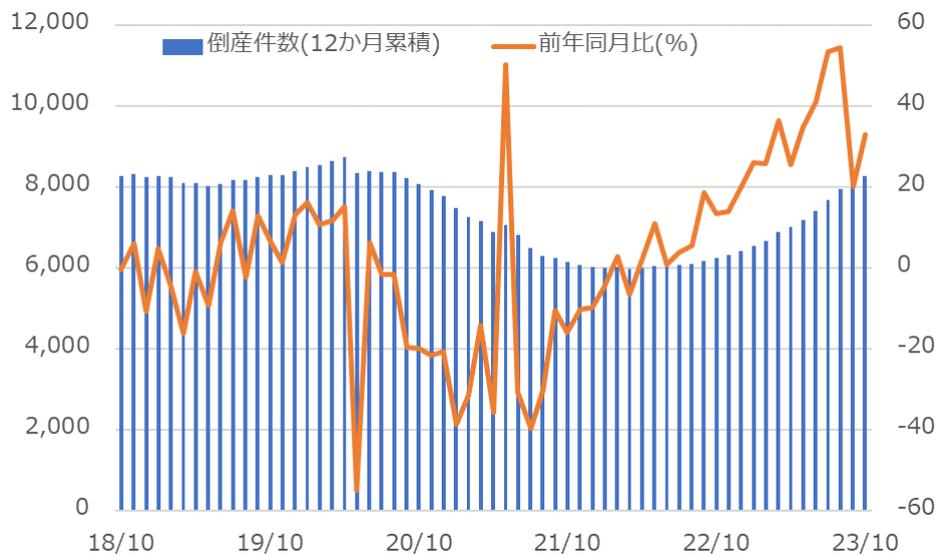
2023 年に入って 20,000 ドルを回復すると、以降は緩やかに上昇を続けています。足元では 35,900 米ドル/BTC (11 月 15 日現在) 前後の水準で、年初からの上昇率は 2.1 倍を超えています。今回のビットコイン価格の上昇理由として多くのメディアが伝えているのは、大手資産運用会社によるビットコインを投資対象とした ETF (上場投資信託) の上場を申請に対する承認期待です。

とはいえ、世界的に進むインフレへの警戒感や、米ドル一強体制に対する長期的な懐疑姿勢など、需給に対する思惑のみならず、中長期的な価格上昇圧力につながるシナリオはほかにいくらかでも考えられます。乱高下を繰り返しながらも、年月をかけて確実に下値を切り上げてきているビットコインのチャートには、もはや「イロモノ」とは言えない、立派な「アセットクラス」の姿が見えてきます。

中小事業者のデフォルト状況（2023年10月までの最新データ）

企業倒産の状況

東京商工リサーチ(TSR)は、11月9日に10月の倒産件数を公表しています。10月単月での倒産件数は793件（前年同月比+33%）、直近12か月の累計は8,260件（同+32%）となりました。前月比での増加は2022年4月から19か月連続で、コロナ禍前の平均的なレベルである年8,000件を超えて増え続けています。また10月の倒産企業の負債総額は3,080億円で、9月としては13年ぶりの高水準となりました。先月のパナソニック液晶ディスプレイ（株）に続いて、今月は大手パチンコホール（株）ガイア（グループ7社合計約1,600億円、民事再生法）の破綻が負債総額を大きく押し上げました。



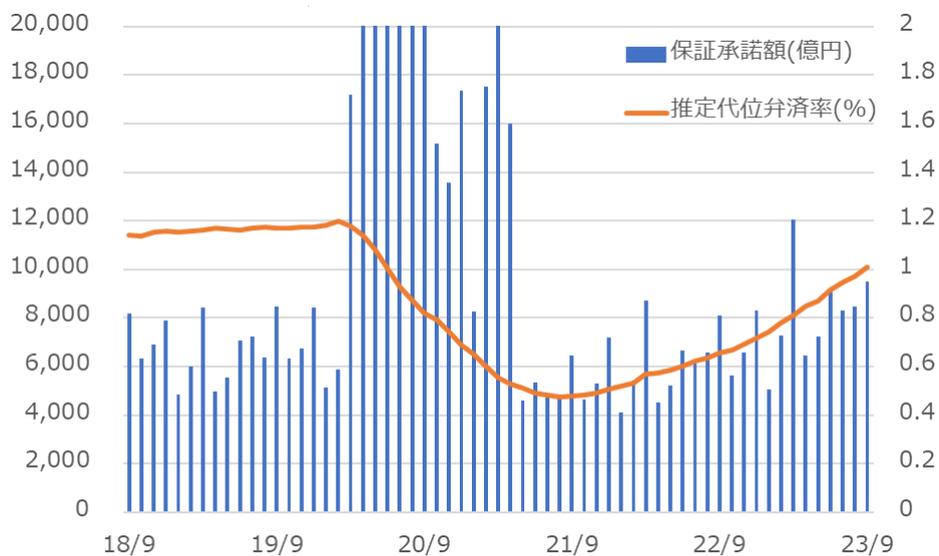
倒産件数の推移（2018年10月～2023年10月）

（出所：東京商工リサーチ Web サイトより筆者作成）

単月の倒産件数793件は2019年10月の780件を上回っており、また前年同月比での伸び率も+30%を超えています。今後は、コロナ禍当時に抑えられていた倒産がどこまで表面化して倒産件数を押し上げるかに注目です。

信用保証協会による代位弁済の状況

全国信用保証協会連合会は 9 月の保証承諾と代位弁済にかかる数値を公表しています。9 月の新規保証承諾金額は 9,512 億円（前年同月比+17%）となりました。一方で 8 月末の保証残高は 38 兆 2 千億円（同▲7%）と減少ペースを強めています。ゼロゼロ融資の返済が進む一方で、一部の信用力に劣る事業者による協会保証への需要が増えている様子がうかがえます。月次の保証承諾額はコロナ禍前よりも平均的に高い水準にあり、コロナ禍は終息しても保証協会による資金繰り支援は平時に戻ったわけではありません。



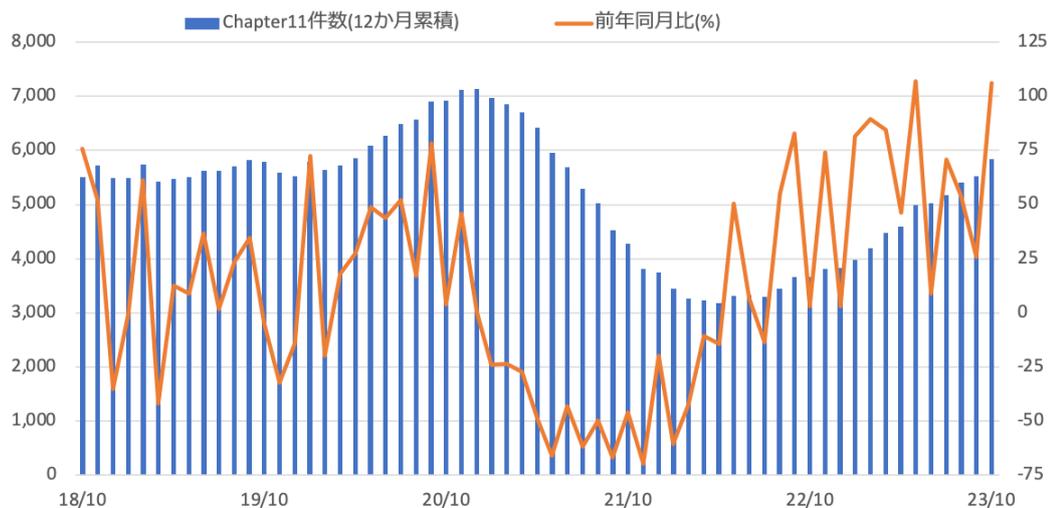
代位弁済率（推定値）と新規保証承諾額（2018年9月～2023年9月）

（出所：全国信用保証協会連合会 Web サイトより筆者作成）

9月の代位弁済件数は3,894件（同+56%）となり、9月としては2014年以来の高水準となりました。また、保証承諾件数と代位弁済件数から推定した8月の代位弁済率は1.01%となり、25か月連続で上昇しました。こちらはコロナ禍前との比較でまだ0.2%ポイントほど低い水準にあります。保証件数、代位弁済率ともに、直近のトレンドに沿った動きであり、大きな傾向の変化は見られません。引き続き代弁率の上昇は見込まれますが、コロナ禍前から経営状況の厳しかった中小・零細企業における動きであり、銀行の貸出先に与える影響は限定的と見られます。

米国の企業倒産の状況

米国ではABI(American Bankruptcy Institute)が、調査会社 Epiq Bankruptcy 社の調査結果をもとに、10月の倒産件数を速報しています。日本の民事再生法に相当する破産法 11 条 (Chapter11) の適用件数は 631 件 (前年同月比+106%) と急増しました。直近 12 か月間の累積は 5,844 件で、こちらは 16 か月連続の増加です。



米国 Chapter11 申請件数 (2018 年 10 月~2023 年 10 月、速報値)

(出所 : American Bankruptcy Institute Web サイトより筆者作成)

米国の倒産件数は増加を続けていますが、今月は前年比での伸び率が 100%を上回るなど、足元で増加ペースが強まっています。日本に比べて遥かに急ピッチの金融引き締めをおこなった影響が現れている可能性もあり、今後はコロナ禍前の水準をさらに上回っていくのか注目されます。

お体には十分お気をつけて...

11月に入っても夏日を記録するなど、歴史的猛暑が止まらなかった2023年ですが、今週は一転して冬模様となりました。みなさま、お体には十分お気をつけください。



さて、11月から私は、以前に所属した日本リスク・データ・バンク株式会社にて、お客様向け月刊誌の編集長として、オリジナル記事の執筆と編集業務を受託することとなりました。当面は、新たな記事の企画や執筆について当該業務を最優先に対応したく、誠に恐縮ですが今後の「曲突徙薪」については不定期での発行といたします。

なお、今後の発行に際しては、弊社 Web サイトのほか SNS にてご案内いたします。変わらずのご愛顧をいただけましたら幸いです。

曲突徙薪（きょくとつしん） 第11号

発行日：2023年11月15日

発行者：リボーン合同会社 代表社員 尾藤 剛

曲突徙薪は、発行日時点での発行者の見解を示すものであり、その内容の完全性、信頼性を保証するものではありません。また、株式、債券をはじめとする特定の金融商品の売買・保有等の投資行動を推奨するものではありません。内容に関するご意見、ご質問等がありましたら、弊社 Web サイトの以下お問い合わせフォームからお願いします。

<https://reborn2020.jp/contact/>